

研究に関する情報公開

国立遺伝学研究所では、2019 年 4 月から 2022 年 3 月まで「ヤポネシア人の起源をさぐるための現代人ゲノム塩基配列の大規模解析」（研究責任者・斎藤成也）の研究を実施してまいりました。この研究にご協力いただいた皆様からご提供いただいたゲノム情報について、研究目的の範囲内で、既に取得したゲノム情報を用いた新たな解析研究を実施します。本研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき実施し、新たな研究に関する情報を公開します。

1. 研究課題名

ヤポネシア人の起源をさぐるための現代人ゲノム塩基配列の大規模解析

2. 研究機関名

国立健康危機管理研究機構（JIHS）が研究代表機関で、以下の共同研究機関と実施します。

【共同研究機関】北海道大学、琉球大学、国立科学博物館、University College London、東京大学医科学研究所、沖縄科学技術大学院大学、理化学研究所、国立がん研究センター、国立遺伝学研究所

3. 研究責任者

国立健康危機管理研究機構 ゲノム医科学プロジェクト 副プロジェクト長 河合洋介

4. 研究の目的

日本列島各地で収集されたゲノム情報を解析し、日本列島人の起源、人口移動及び人口動態（Demographic history）を明らかにすることを目的とします。

5. 研究の意義

本研究は日本列島人の歴史や遺伝的多様性を解明する基礎研究です。得られた成果は人類学、集団遺伝学、生物学の発展に加え、日本人集団の遺伝的背景の理解を通じてゲノム医学の基盤整備にも貢献することが期待されます。

6. 研究対象者

「ヤポネシア人の起源をさぐるための現代人ゲノム塩基配列の大規模解析」に参加され、ゲノム情報をご提供いただいた方。

7. 利用する情報・試料

利用するのは既に取得された全ゲノム配列データ、SNP アレイデータ、遺伝型情報及び祖父母 4 名の出身地情報です。DNA 試料等の生体試料は本研究には提供しません。

8. 情報の利用目的

既存のゲノム情報を用いて日本列島人集団の集団構造、地域差、人口動態及び周辺地域との比較解析を行います。

9. 外部提供の有無

国立遺伝学研究所から国立健康危機管理研究機構へ仮名化されたゲノム情報を提供します。対応表は提供されず、共同研究機関においても個人を識別できません。

10. 個人情報保護の方法

氏名等の直接個人を識別できる情報は提供されません。対応表は国立遺伝学研究所で管理され、提供先には共有されません。研究成果は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。

11. 研究期間

本研究は国立健康危機管理研究機構倫理審査委員会の承認を受けるとともに、国立遺伝学研究所における所定の手続きを経て実施します。倫理審査承認後から 2028 年 3 月 31 日まで実施します。

12. 研究への参加を拒否できること

本研究への情報利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までお申し出いただくことで利用停止を希望することができます。

13. 拒否した場合の不利益

利用停止を申し出たことにより、不利益を受けることは一切ありません。ただし、既に解析・公表済みの研究成果については対応できない場合があります。

14. 拒否の方法・連絡先

電話、電子メール等により下記問い合わせ先へご連絡ください。ご本人であることを確認したうえで、可能な範囲で利用停止の手続きを行います。

15. 問い合わせ先

国立遺伝学研究所 ヒト集団ゲノム研究室

研究責任者：河合洋介

〒411-8540 静岡県三島市谷田 1111

E-mail : ykawai@nig.ac.jp

電話：055-981-5838